

『組織再構築の制御と破綻～健康・未病・疾患～』

日時：2023年11月21日（火） 10:30～17:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5F 山村雄一記念ライフホール(WEB配信併用)

開催趣旨：

全ての臓器は、肝臓における肝細胞のように臓器を特徴付ける実質細胞と血管構成細胞、線維芽細胞、免疫細胞などの多彩な間質細胞から構成されます。内外の様々なストレスに応じて、臓器内の構成細胞の種類や比率がダイナミックに変化して局所の恒常性は維持されますが（健康）、ストレスが慢性化して適応できなくなると、恒常性維持機構の破綻により線維化などの器質的変化を伴う不可逆な臓器機能不全、場合によっては腫瘍化に至ります（疾患）。日々の軽微なストレスに対して可逆的な組織再構築は生じており、「疾患」の前段階である「未病」における臨床的意義が注目されています。近年、イメージング技術やシングルセル解析技術の進歩により、従来、概念的な理解にとどまっていた未病の機能的・形態的な変化の詳細が明らかになってきました。本セミナーでは、本研究領域に挑戦するわが国を代表する研究者を招聘し、組織再構築の制御機構と破綻病態に関する最新の知見を御紹介いただきます。

「はじめに」 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野（第三内科）主幹教授 小川 佳宏

10:50-11:30 演題1「細胞死を起点とする組織再構築と代謝性疾患」

名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授 菅波 孝祥

11:30-12:10 演題2「イメージングで捉えた種々の病態誘導マクロファージ

～未病段階での制御に向けて～

大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学教室 教授 石井 優

13:20-14:00 演題3「がんによる線維性間質の組織再構築とその人為的制御の試み」

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学 教授 榎本 篤

14:00-14:40 演題4「正常上皮細胞と変異細胞間に生じる細胞競合

～がんの未病の理解を目指して～

京都大学大学院医学研究科 分子生体統御学講座 分子腫瘍学 教授 藤田 恭之

14:40-15:20 演題5「疾患関連エクソソームから解析する臓器連関制御と破綻」

東京大学先端科学技術研究センター 細胞連関医科学分野 教授 星野 歩子

15:30-16:10 演題6「多病の基盤となる組織再構築の制御機構」

千葉大学大学院医学研究院 教授 眞鍋 一郎

16:10-16:50 演題7「内分泌代謝学からみた組織再構築」

九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野（第三内科）主幹教授 小川 佳宏

「おわりに」

名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授 菅波 孝祥

セミナー終了後、講師と会場参加者との交流会を実施

- 定員：会場参加100名・WEB参加500名（定員になり次第締め切ります）
- 参加費：無料
- 申込方法：参加希望者は、当財団ホームページ「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい。
<https://www.senri-life.or.jp> 参加者には、開催日前に参加方法をお知らせします。
- お問い合わせ：千里ライフサイエンス振興財団 セミナーV4事務局

E-mail:tmp-2021@senri-life.or.jp、TEL:06-6873-2006、FAX:06-6873-2002

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西

